

学年	中学2年	教科	国語	科目	書写	単位数	1
教科書名	新しい書写一・二・三年 (東京書籍)			副教材名	なし		
コース・クラス	中高一貫						

#### I. 目標

漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく早く書くことができる。  
目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くことができる。

#### II. 授業のねらい

「書く」ことができる段階から語句・文・文章の中で「使う」ことができる段階にまで進み、文字習得の流れに対応しながら「字形」や「配列・配置」などの学習内容を追究していく。

#### III. 授業の進め方

- ・毛筆、硬筆ともに実技練習を中心として進める。

#### IV. 学習上の留意点

- ・毛筆道具、教科書を毎回持参する。
- ・道具は適切に管理し、練習に支障をきたさないようにする。
- ・技能向上のために、自ら考えながら積極的に練習する。
- ・実際の生活で生かすことを意識して学ぶ。

#### V. 定期試験

授業内で学期ごとに1～2回の実技テスト

#### VI. 評価の方法

実技テスト、忘れ物、取り組み姿勢

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	ガイダンス 行書 基本点画	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	以下の点を意識して適切に書くことができる。 ・行書の基本的な筆使い ・墨量 ・線質 ・字形 ・氏名も含めた全体構成
	5	「日光」 「大空」		
	6	実技テスト4  硬筆		
二学期	9	行書 基本点画 「桜色」	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	以下の点を意識して適切に書くことができる。 ・行書の基本的な筆使い ・墨量 ・線質 ・字形 ・氏名も含めた全体構成 ・書き初めとして、大字作品をまとめることができる。
	10	「若緑」		
	11	「晴耕雨読」 実技テスト		
	12	書き初め		
三学期	1	行書 「豊かな自然」 実技テスト	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	・漢字かな交じりのことばを、行書の特徴を生かして書くことができる。
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。